

講義名	日本語資格試験講座【N1対策】			授業形態	
担当教員	上仲 淳	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
			ナンバリング・コード	JPN123	
主題と概要					
日本語能力試験（N1）合格と同等レベルの日本語能力を養成する。 問題解決のコツとポイントを整理する。 文字読解・文法・聴解・読解の各スキルを網羅する。					
到達目標					
日本語能力試験（N1）の合格を目指す。 練習問題を解きつつ、自身の弱点補強とレベルアップができるようになる。					
提出課題					
ワークシート、宿題など、授業内もしくはポータル上で随時指示する。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
テストや課題について、各々にチェックおよびコメントを行い、また、全体としての講評・解説等も行ってフィードバックをする。					
評価の基準					
授業参加度（30％）、小テスト3回（36％）、期末テスト（34％）					
履修にあたっての注意・助言他					
出欠は毎回とる。 全授業の1/3以上欠席したものは、試験を受けることができない。 遅刻3回で、1回欠席とする。 15分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業の復習と課題をしっかりとすること。 真面目かつ積極的な授業参加を望む。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					

その他		
プリント資料もしくはウェブ資料を利用する。		
<参考文献> 『パターン徹底ドリル 日本語能力試験N1』 西岡俊哉ほか アルク 『ドリル&ドリル日本語能力試験N1文字読解』ユニコム 『ドリル&ドリル日本語能力試験N1文法』ユニコム		
授業計画		
1. オリエンテーション、文字読解 予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 2. 文字読解 予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 3. 文字読解 予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 4. 文字読解 予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 5. 文法、および文字読解の小テスト（1） 予習内容：講義の1回目から4回目の配布資料を復習し、小テストに備える。（150分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習する。（90分） 6. 文法 予習内容：文法の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 7. 文法 予習内容：文法の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 8. 文法 予習内容：文法の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 9. 聴解、および文法の小テスト（2） 予習内容：講義の5回目から8回目の配布資料を復習し、小テストに備える。（150分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習する。（90分） 10. 聴解 予習内容：聴解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 11. 聴解 予習内容：聴解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 12. 読解、および聴解の小テスト（3） 予習内容：講義の9回目から11回目の配布資料を復習し、小テストに備える。（150分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習する。（90分） 13. 読解 予習内容：読解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 14. 読解 予習内容：読解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組む。（180分） 15. 期末テスト		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A～I型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
留学生を対象とした科目群であり、資格取得に向けた総合的な日本語能力の向上とともに、本学のディプロマポリシーの一つである論理的思考力を持った人材育成にも資する。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		